

2016 年度懇話会報告

懇話会名 機械の音と振動研究懇話会
代表者名 宇津野秀夫
委員数 54 名
集会回数 3 回
設置年月日 平成 5 年 7 月

I 研究会活動

- 第 62 回懇話会 (2016 年 9 月 16, 17 日) 会場 おごと温泉 @湯の宿 木もれび 参加者 29 名
特別講演 「自動車振動のモデル開発と分析法研究の紹介」
講師 城戸 一郎氏 (岐阜大学工学部客員教授, 元トヨタ自動車)

一般講演として, 参加者全員による研究セッション(技術や研究に関する成果を発表し, 質疑応答を行う), 技術討議セッション(面白い論文や特許の紹介, 実験設備の紹介, 業界での最近の技術動向・研究動向など幅広い内容を想定する), 自己紹介セッション(発表しない 40 歳以下の参加者用のセッション)を実施した.

- 第 63 回懇話会 (2016 年 11 月 5 日) 会場 龍谷大学 参加者 35 名
第 17 回秋季技術交流フォーラムの一環として開催. 振動談話会と共催.
テーマ「モード解析の基礎と最近の応用例」
10:45~11:30 「構造-音場および音場-音場の連成振動の理論解析」 / 山田啓介 (関西大)
11:30~12:30 【基調講演】「部分構造合成法の基礎と応用例」 / 鞍谷文保 (福井大)
13:30~14:30 【基調講演】「実験計測に基づく振動騒音解析と構造対策検討法」
/ 吉村卓也 (首都大)
14:30~15:15 「レーリー減衰を前提にした 1 次元連続体の複素モード解析」
/ 宇津野秀夫 (関西大)
15:25~16:00 モード解析に関するパネルディスカッション / 講演者全員

- 第 64 回懇話会 (2017 年 3 月 7 日) 会場 関西大学
講演題目 「音と振動に関する技術の過去, 現在および未来」
講演者 中央大学 理工学部精密工学専攻 教授 大久保信行先生
講演概要 1970 年代から発展した実験データに基づく技術の歴史について振り返り,
現在まで利用されている技術のまとめと今後どのような方向に向かっていくか
について紹介する.
プログラム
13:30-15:00 講演 (90 分)
15:00-15:30 質疑 (30 分)
15:30-16:30 関西大学 機力制御研究室の見学 (60 分)

II その他の活動

騒音に関する講習会の講師派遣, 第 92 期定時総会講演会の企画支援

以上